

## 【施策11】 生涯を通して学習し、その成果が生きる環境を整備します

### 【施策の現状】

社会の成熟化が進む中、だれもが生涯にわたってあらゆる機会にあらゆる場所で学習ができ、そしてその成果を適切に活かすことができる社会を実現することが重要です。

本県では、「学びがめぐる学習空間・ふくしま」の実現を目指し、平成20年度の第20回全国生涯学習フェスティバル<sup>74</sup>の開催や、学習の成果が適切に評価・活用されるシステムの充実等に取り組んできました。

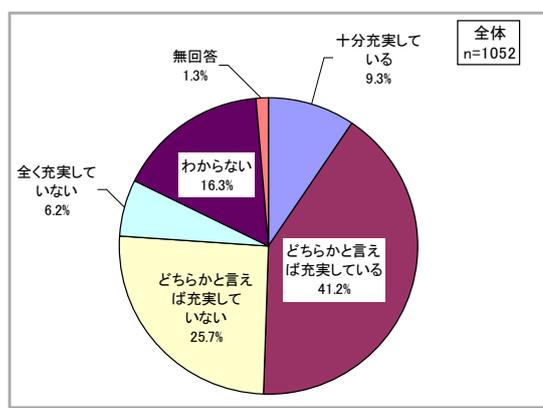
県民アンケートでは、いつでも、どこでも、だれもが学びつづけることができる環境について、「どちらかと言えば」も含め、充実していると答えた県民の割合は50.5%で、約半数が充実していると感じているという結果でした。

〔いつでも、どこでも、だれもが学びつづけることができる環境が充実していると感じる割合（全体）〕

### 〔東日本大震災・原子力災害を経て〕

将来の災害に対する備えやエネルギー問題を考えていく上で、今回の東日本大震災や原子力災害の記録は非常に重要な意義を有するものであり、それらの収集・保存が求められています。

また、災害に対する正しい知識やその対応について学習する機会の充実が求められています。



### 【基本的方向性】

- ・ いつでも、どこでも、だれもが生涯を通して学ぶことができる環境づくりを一段と進めるため、市町村や高等教育機関、民間事業者及びNPO<sup>75</sup>等市民団体等との協働体制を県内各方部ごとに構築する中で、地域づくりにつながる生涯学習の仕組みづくりを図ります。
- ・ 「地域の知の拠点」として誰もが利用しやすい施設となるよう、美術館、博物館、図書館などの生涯学習施設<sup>76</sup>等の連携とネットワークづくりを進めます。
- ・ 生涯学習推進拠点機能<sup>77</sup>の強化を図るとともに、学習情報の効果的提供や指導者の育成と支援、学習相談体制の再構築など中核機能を充実します。

<sup>74</sup> 第20回全国生涯学習フェスティバル……生涯学習の場を全国的な規模で提供することによって、国民の生涯学習への意欲を高めるとともに、学習活動への参加を促進し、生涯学習活動を一層盛んにすることを目的に開催される参加体験型の全国的イベント。本県においては、平成20年度に第20回大会を開催し、県内外から55万人の参加者を得た。

<sup>75</sup> NPO……NonProfit Organization（民間非営利組織）の略。営利を目的とせず、公共的な活動を行う民間の組織・団体の総称。

<sup>76</sup> 生涯学習施設……学校教育施設や社会教育施設を含めて、人々が生涯を通じて学習できる施設。

<sup>77</sup> 生涯学習推進拠点機能……学習機会・情報の提供、学習相談、指導者養成、学習団体等への活動支援など、県民の生涯学習活動の支援・促進を図る機能。

## [東日本大震災・原子力災害を経て]

- ・ 東日本大震災・原子力災害の記録を収集・保存し、公開するなどの取組を推進します。
- ・ 災害を踏まえた地域の課題等を解決するための取組を支援します。

## 【今後の取組】

- ◇ 県民の学習機会の充実と学習成果を活かした社会参加の促進  
多様な学習ニーズに応えられるよう、学習機会の充実と指導者の養成や資質の向上を図るとともに、生涯学習活動を地域づくりにつなげる視点から、社会教育施設等において発表の場の提供や県民の地域活動への参加を進めます。  
特に、震災の経験を踏まえた地域の防災力を向上させるための学習の支援など、現代的課題に対する学習機会の充実を図ります。  
また、アクアマリンふくしまやまほろん（文化財センター白河館）などの生涯学習施設<sup>76</sup>の学習機能の充実を図ります。
- ◇ 生涯学習施設等の連携とネットワークづくり  
県民が学び続ける環境の充実のために、美術館、博物館、図書館等の生涯学習施設間における一層の連携を図り、情報提供やさまざまな体験的学習、各種講座等を通して、県民一人一人の学びを支援します。
- ◇ 東日本大震災の記録の収集・保存  
東日本大震災や原子力災害に関する図書資料や関係記録を収集し広く県民に公開するとともに、次代へ継承する取組を進めます。
- ◇ 生涯学習推進拠点機能<sup>77</sup>の強化  
県民のライフステージ<sup>78</sup>、ライフスタイル<sup>1</sup>に応じた多様な生涯学習に関するニーズに応えられるよう、生涯学習の情報ネットワークや学習環境・利便性の向上、発表の機会の拡充などにより、学習機会についての情報提供及び県民の意欲に応える生涯学習の環境づくりに努めます。

---

<sup>1</sup> ライフスタイル…… 3 ページ参照。

<sup>76</sup> 生涯学習施設…… 5 4 ページ参照。

<sup>77</sup> 生涯学習推進拠点機能…… 5 4 ページ参照。

<sup>78</sup> ライフステージ……人間の一生において節目となる出来事(出生、入学、卒業、就職、結婚、出産、子育て、退職等)によって区分される生活環境の段階。

## 〔施策11 指標〕

指標名	現況値	目標値	備考
県民カレッジ（夢まなびと） <sup>79</sup> 受講者数	H23年度 54,532人	H32年度 65,000人	
県立美術館、県立博物館、福島県文化センター、アクアマリンふくしま、文化財センター白河館の入館者数及び県立図書館の貸出冊数			
・県立美術館	H23年度 103,960人 (参考 H22年度 140,232人)	H32年度 120,000人	
・県立博物館	H23年度 82,414人 (参考 H22年度 95,556人)	H32年度 100,000人	
・福島県文化センター	H23年度 62,929人 (参考 H22年度 314,413人)	H32年度 345,800人	
・アクアマリンふくしま	H23年度 258,244人 (参考 H22年度 861,326人)	H32年度 900,000人	
・文化財センター白河館	H23年度 22,528人 (参考 H22年度 28,231人)	H32年度 30,000人	
・県立図書館	H23年度 104,646冊 (参考 H22年度 240,706冊)	H32年度 増加を目指す	モニタリング指標

<sup>79</sup> 県民カレッジ（夢まなびと）……県民の幅広い学びのニーズに応えるため、県や市町村、大学、NPOなどの地域活動団体、民間の教育機関等が連携・協働して創りあげる「県内全域の生涯学習」のしくみ。